

## 大齋節第2主日特祷

全能の神よ、わたしたちは自らを助ける力のないことをあなたは知っておられます。どうか外は体を損なうすべての災いを防ぎ、内は魂を襲う悪念を除いてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

## 旧約聖書 創世記 12章 1-8 節

1 主はアブラムに言われた。

「あなたは生まれ故郷

父の家を離れて

わたしが示す地に行きなさい。

2 わたしはあなたを大いなる国民にし

あなたを祝福し、あなたの名を高める

祝福の源となるように。

3 あなたを祝福する人をわたしは祝福し

あなたを呪う者をわたしは呪う。

地上の氏族はすべて

あなたによって祝福に入る。」

4 アブラムは、主の言葉に従って旅立った。ロトも共に行った。

アブラムは、ハランを出発したとき七十五歳であった。5 アブラムは妻のサライ、甥のロトを連れ、蓄えた財産をすべて携え、ハランで加わった人々と共にカナン地方へ向かって出発し、カナン地方に入った。6 アブラムはその地を通り、シケムの聖所、モレの櫛の木まで来た。当時、その地方にはカナン人が住んでいた。

7 主はアブラムに現れて、言われた。

「あなたの子孫にこの土地を与える。」

アブラムは、彼に現れた主のために、そこに祭壇を築いた。

8 アブラムは、そこからベテルの東の山へ移り、西にベテル、東にアイを望む所に天幕を張って、そこにも主のために祭壇を築き、主の御名を呼んだ。9 アブラムは更に旅を続け、ネゲブ地方へ移った。

## 詩 編 第33篇 12-22 節

12 主を神として頂く国 // 神のものとして選ばれた民は幸せ

13 主は天から目を注ぎ // 人びとをすべてご覧になる

- 14 神はそのみ住まいから // 地に住むすべての人に目を注がれる
- 15 神は一人ひとりの心を造り // その業を見抜かれる
- 16 王は多くの軍勢によって救われるのではなく // 勇士も力によって助けられるのではない
- 17 馬は救いの力にならず // 大軍も人の助けには成らない
- 18 主の目は神を畏れる人の上に // 神の愛に希望を置く人の上に注がれる
- 19 神は彼らの魂を死から救い // 飢えから彼らを助けられる
- 20 わたしたちの魂は主を待ち望む // 神はわたしたちの盾、また救い
- 21 心は神のうちに喜び // 尊いみ名に寄り頼む
- 22 主よ、慈しみをわたしたちの上に // あなたに希望を置く者に与えてください

### 使徒書 ローマの信徒への手紙 4章 1-5, 《6-12》, 13-17 節

1 では、肉によるわたしたちの先祖アブラハムは何を得たと言うべきでしょうか。 2 もし、彼が行いによって義とされたのであれば、誇ってもよいが、神の前ではそれはできません。 3 聖書には何と書いてありますか。「アブラハムは神を信じた。それが、彼の義と認められた」とあります。 4 ところで、働く者に対する報酬は恵みではなく、当然支払われるべきものと見なされています。 5 しかし、不信心な者を義とされる方を信じる人は、働きがなくても、その信仰が義と認められます。《 6 同じようにダビデも、行いによらずに神から義と認められた人の幸いを、次のようにたたえています。

7 「不法が赦され、罪を覆い隠された人々は、幸いである。

8 主から罪があると見なされない人は、幸いである。」

9 では、この幸いは、割礼を受けた者だけに与えられるのですか。それとも、割礼のない者にも及びますか。わたしたちは言います。「アブラハムの信仰が義と認められた」のです。 10 どのようにしてそう認められたのでしょうか。割礼を受けてからですか。それとも、割礼を受ける前ですか。割礼を受けてからではなく、割礼を受ける前のことです。 11 アブラハムは、割礼を受ける前に信仰によって義とされた証しとして、割礼の印を受けたのです。こうして彼は、割礼のないままに信じるすべての人の父となり、彼らも義と認められました。 12 更にまた、彼は割礼を受けた者の父、すなわち、単に割礼を受けているだけでなく、わたしたちの父アブラハムが割礼以前に持っていた信仰の模範に従う人々の父ともなったのです。》

13 神はアブラハムやその子孫に世界を受け継がせることを約束されたが、その約束は、律法に基づいてではなく、信仰による義に基づいてなされたのです。 14 律法に頼る者が世界を受け継ぐのであれば、信仰はもはや無意味であり、約束は廃止されたこととなります。 15 実に、律法は怒りを招くものであり、律法のないところには違犯もありません。 16 従って、信仰によってこそ世界を受け継ぐ者となるのです。恵みによって、アブラハム

のすべての子孫、つまり、単に律法に頼る者だけでなく、彼の信仰に従う者も、確実に約束にあずかれるのです。彼はわたしたちすべての父です。17「わたしはあなたを多くの民の父と定めた」と書いてあるとおりです。死者に命を与え、存在していないものを呼び出して存在させる神を、アブラハムは信じ、その御前でわたしたちの父となったのです。

## 福音書 ヨハネによる福音書 3章 1-17節

1 さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。  
2 ある夜、イエスのもとに来て言った。「ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、だれも行うことはできないからです。」 3 イエスは答えて言われた。「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」 4 ニコデモは言った。「年をとった者が、どうして生まれることができますでしょう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるのでしょうか。」 5 イエスはお答えになった。「はっきり言っておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。6 肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。 7『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。 8 風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。」 9 するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえましょうか」と言った。 10 イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。 11 はっきり言っておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証ししているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。 12 わたしが地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。 13 天から降って来た者、すなわち人の子のほかには、天に上った者はだれもない。 14 そして、モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。 15 それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。  
16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。 17 神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。